



高雄污水处理場に「ISO 14064」と「PAS 2050」のお墨付き

高雄園区污水处理場は2014年1月、「ISO 14064」(温室効果ガス排出量認定証)と「PAS 2050」(カーボン・フットプリント国際認定証)を取得。これからもより環境に優しい污水处理モデルを追求していきます。



全国にニヶ所だけ ダイヤモンド級エコ・コミュニティ

南科はダイヤモンド級グリーン建築の割合が最も高い科学園区です。2014年の時点で全国のダイヤモンド級グリーン建築の1/6に相当する11の建築物が南科に集中しています。他の等級も合わせると、南科には30のグリーン建築が存在しています。また、グリーン工場も8工場と、全国の1/3を占め、南科はグリーン工場の集中度でも全国一の科学園区となっています。このほか、2013年にダイヤモンド級グリーン建築エコ・コミュニティ認証(EEWH-EC)を取得した台南園区に続き、高雄園区でも2014年6月9日に同認証を取得。全国でこのエコ・コミュニティ認証を獲得したのは、全国でも南科の台南、高雄園区のニヶ所だけとなっています。

■ 高雄園区污水处理場が取得した温室効果ガス排出量認定証とカーボン・フットプリント国際認定証 (2014.01.17, 01.29)

環工センターがシルバー級グリーン建築に

台南園区環工センターの污水处理場中央管理棟は建設されて15年になります。2014年、エネルギー消費の管理や電力系統、照明システム、設備の見直しなど省エネ対策の徹底、屋上への太陽光発電システム設置などの取り組みが評価され、9月11日、シルバー級グリーン建築の認証が授与されました。



■ 高雄園区がダイヤモンド級グリーン建築エコ・コミュニティ認証を取得 (2014.06.09)



■ 吳敦義副總統(左)が2014年台湾企業永續獎「非営利組織組」最高等級金獎のトロフィーを授与 (2014.11.25)

CSRを推進 再び金獎に輝く

南科ではCSR推進に力を入れています。2014年は「2014台湾企業永續獎(TCSA)非営利組織最高等級金獎」(11月25日)及び「2014英国規格協会GRC永續治理実践獎」(12月11日)のダブル受賞という栄誉に輝きました。また、管理局の支援の下で14社がCSR報告を作成。CSR報告を作成している入居企業はすでに累計で25社に上っています。管理局の後押しで「2014台湾授業永續獎」に参加した晶元光電は、大型企業電子業の部で銅獎を獲得しました。